

～少子高齢化という『数字のマジック』～

---

【図解で徹底検証】

年金が破綻しないと都合が悪い“本当の理由”

---



FLYING ACE ACADEMY

---

資産形成チャンネル

# 本日のレジュメ

## CHAPTER 1

『少子高齢化』  
と賦課方式の関係

## CHAPTER 2

GPIFによる  
年金積立金の今後

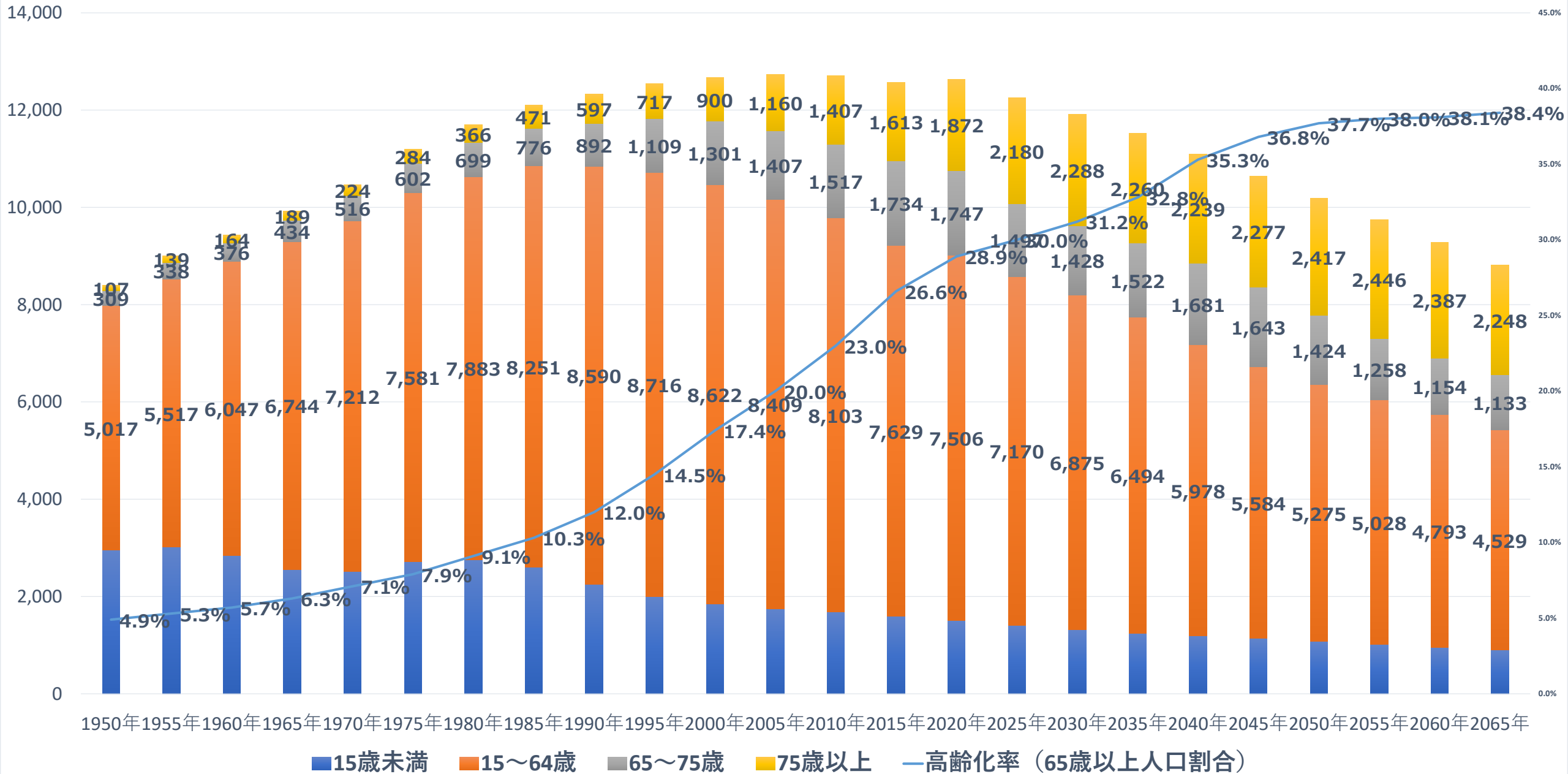
## CHAPTER 3

もし年金積立金が  
なかったら…

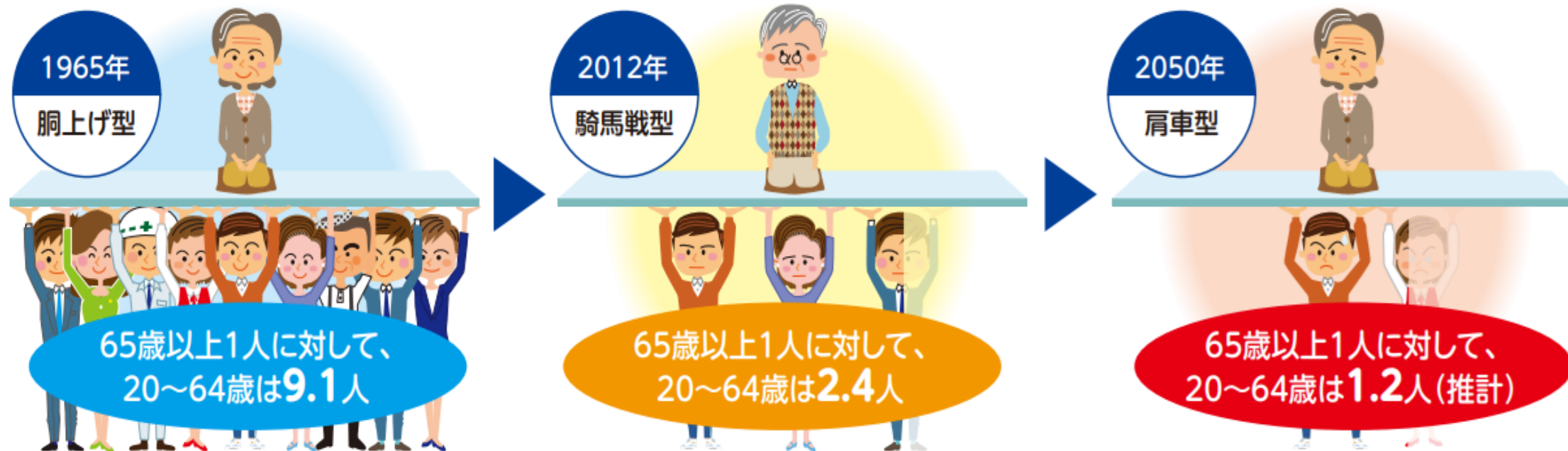
## CHAPTER 4

情報の“源泉”を探る

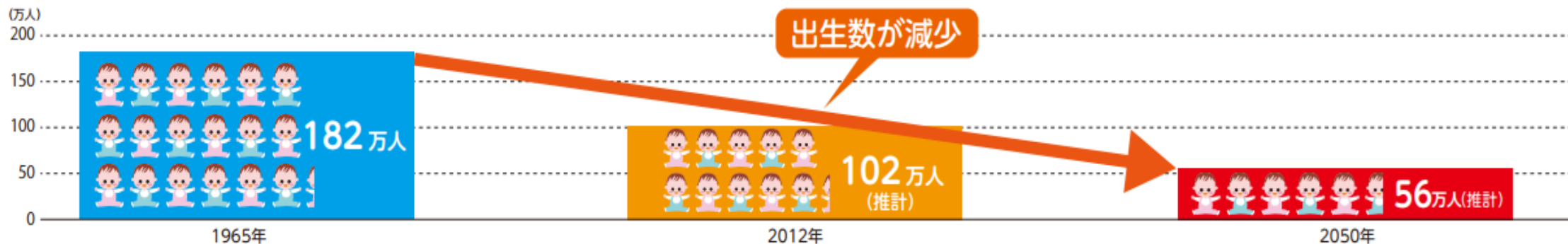
# 日本の人口の年次推移と将来推移



# 年金は賦課方式



## ■出生数



内閣府、政府広報パンフレット「明日の安心 社会保障と税の一体改革を考える」より抜粋

# 公的年金の歳入と歳出

|       | 厚生年金             |                  | 国民年金           |              |
|-------|------------------|------------------|----------------|--------------|
|       | 2015年度           | 2016年度           | 2015年度         | 2016年度       |
| 歳入    | 45兆1,644億円       | 48兆7,555億円       | 4兆2,346億円      | 4兆4,309億円    |
| 歳出    | 42兆9,008億円       | 45兆6,595億円       | 4兆1,189億円      | 4兆3,816億円    |
| 歳入歳出差 | <b>2兆2,635億円</b> | <b>3兆0,960億円</b> | <b>1,157億円</b> | <b>493億円</b> |

出所：厚生労働省「厚生年金・国民年金の平成28年度収支決算の概要」

# GPIF（年金積立金管理運用独立行政法人）

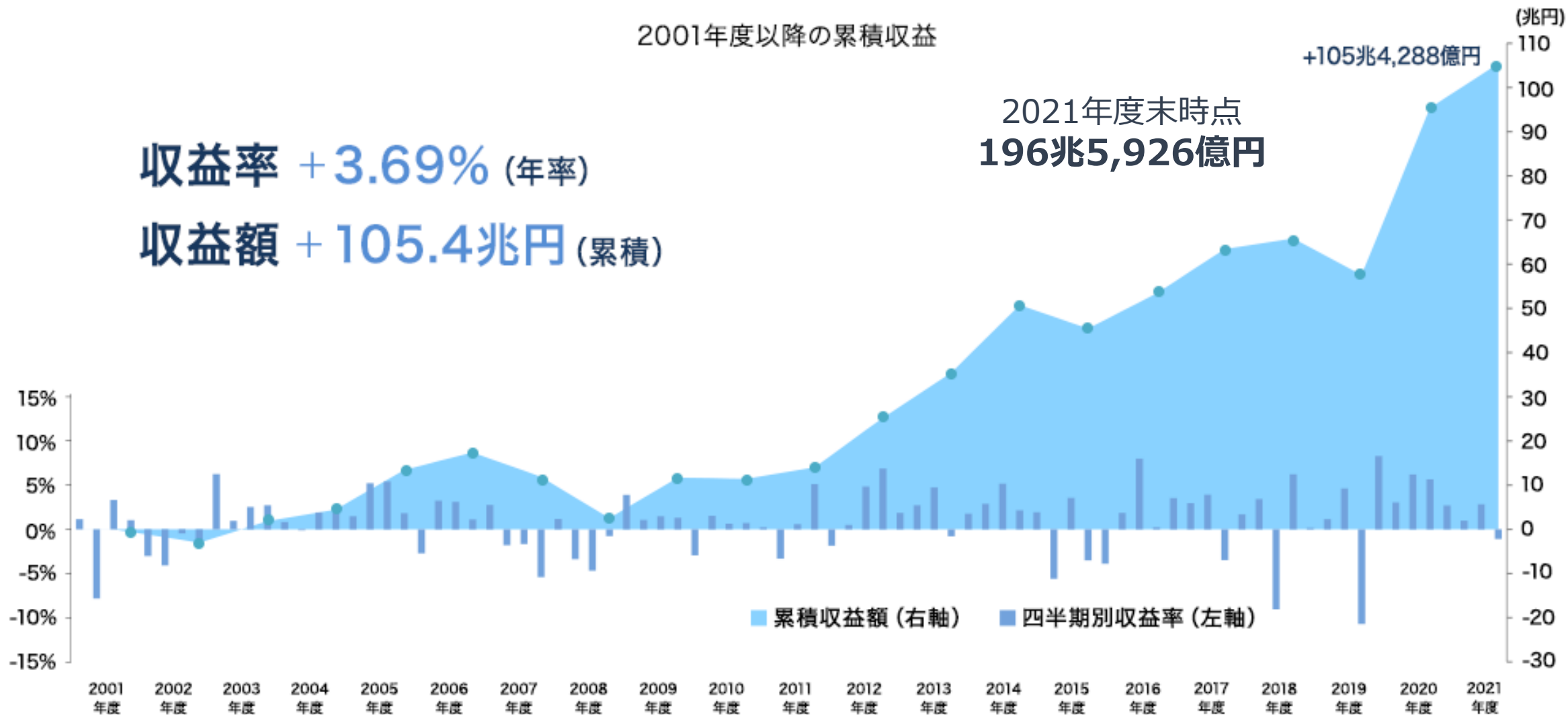
2001年度以降の累積収益

収益率 +3.69% (年率)

収益額 +105.4兆円 (累積)

2021年度末時点  
196兆5,926億円

+105兆4,288億円

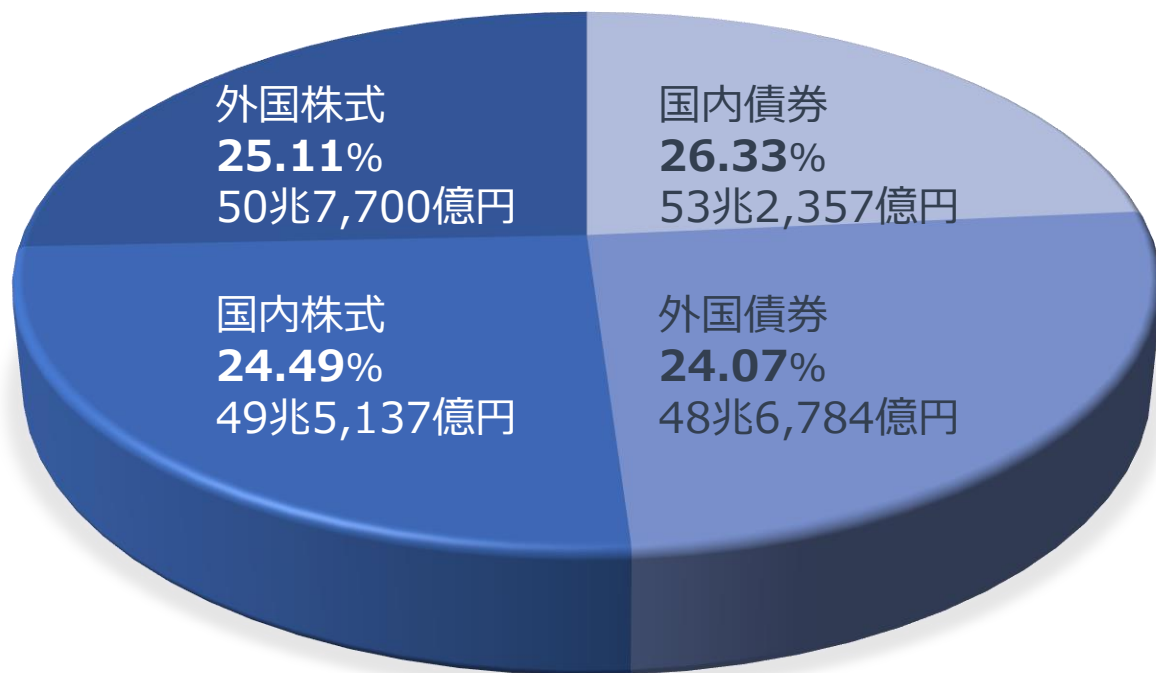


本資料は情報提供を目的としており、いかなる投資の推奨・勧誘を行うものではありません。過去のパフォーマンスは将来のリターンを保証するものではありません。  
本資料は株式会社FLYING ACEの著作物です。株式会社FLYING ACEの承諾なしの利用、複製等は損害賠償、著作権法の罰則の対象となります。

Copyright.2022 FLYING ACE All right reserved.

# 2021年度末「運用資産額」

2021年度末時点  
**196兆5,926億円**

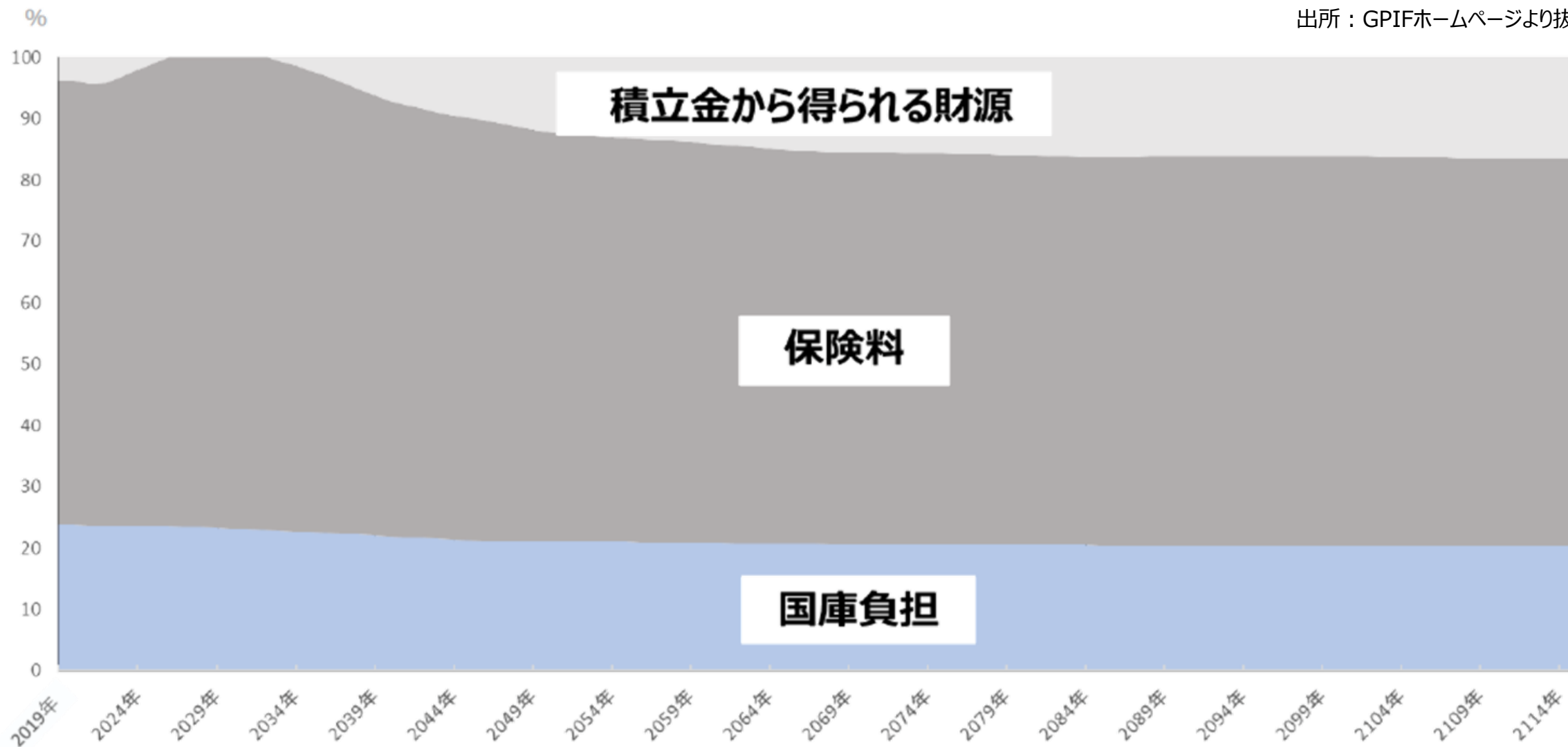


2021年度  
7,500億円

市場運用開始以降  
[2001年度～2021年度]  
17兆5,797億円（累積）

# 厚生年金の財源と内訳（2019年財政検証）

出所：GPIFホームページより抜粋



本資料は情報提供を目的としており、いかなる投資の推奨・勧誘を行うものではありません。過去のパフォーマンスは将来のリターンを保証するものではありません。  
本資料は株式会社FLYING ACEの著作物です。株式会社FLYING ACEの承諾なしの利用、複製等は損害賠償、著作権法の罰則の対象となります。

Copyright.2022 FLYING ACE All right reserved.

# 概ね100年間の年金積立金の見通し（2019年財政検証）

【ケースごとの年金積立金の推移】

【ケースⅠ】ピーク時：2095年度（1,008兆円）

【ケースⅢ】ピーク時：2079年度

479兆円

【ケースⅡ】ピーク時：2088年度（693兆円）

※2021年度末時点  
196兆5,926億円

【ケースⅢ】

【ケースⅣ】ピーク時：2074年度（300兆円）

【ケースⅤ】ピーク時：2045年度（234兆円）

2019年3月末（実績）

159兆円

2020 2025 2030 2035 2040 2045 2050 2055 2060 2065 2070 2075 2080 2085 2090 2095 2100 2105 2110（年度）

出所：GPIF資料

※人口の前提は出生中位、死亡中位

※実績は、GPIFが保有する積立金額であり、年金特別会計等を含まない。

本資料は情報提供を目的としており、いかなる投資の推奨・勧誘を行うものではありません。過去のパフォーマンスは将来のリターンを保証するものではありません。  
本資料は株式会社FLYING ACEの著作物です。株式会社FLYING ACEの承諾なしの利用、複製等は損害賠償、著作権法の罰則の対象となります。

Copyright.2022 FLYING ACE All right reserved.

# 収支が釣り合っている状態にする



現役世代



老後世代

2015年

7,629

3,347

7,629a

=

3,347b

2050年

5,275

3,841

5,275c

=

3,841b

本資料は情報提供を目的としており、いかなる投資の推奨・勧誘を行うものではありません。過去のパフォーマンスは将来のリターンを保証するものではありません。  
本資料は株式会社FLYING ACEの著作物です。株式会社FLYING ACEの承諾なしの利用、複製等は損害賠償、著作権法の罰則の対象となります。

Copyright.2022 FLYING ACE All right reserved.

収支が釣り合っている状態にするには

$$C = \frac{3,841 \times 7,629}{3,347 \times 5,275} a$$

$$C = 1.66a$$

つまり35年かけて1.66倍にすればOK



年率約**1.46%**の増加で賄える

# 結局年金破綻の根拠は何…

2021年度の国民年金の保険料の昨年度の納付率は**73.9%**

⇒ 10年連続で前の年度を上回っている



何故年金が破綻と言われてしているのか



『破綻シナリオ』の方が自分達の商売に都合が良い人達が一定数存在する

**『情報の源泉を探る』ことが重要**